

記念すべき50周年を迎えた
久慈青年会議所の理事長

今を動かし、未来を拓く

きらり
人輝く

一般社団法人久慈青年会議所は今年で創立50周年を迎えました。記念すべき年の理事長を務める繁名隆さん。「未来をつくるのは、未来を生きる人ではなく、今を生きる自分たち。青年会議所の活動を通じて、久慈地域を盛り上げていきたいです」と語ります。その眼差しは若きリーダーとして久慈の未来を見つめていました。

■久慈青年会議所とは

青年会議所は全世界にある組織で、青年の市民活動を推進することを目的としています。日本国内では696団体、20~40歳の約3万5千人が「修練」「奉仕」「友情」の3つの信条のもと、より良い社会を目指し活動しています。

久慈では1967年にまちづくりのための人づくりを理念に久慈青年会議所が設立され、今年で50周年を迎えました。現在は43人が所属しています。

■入会のきっかけ

27歳で久慈に帰ってきた時に、先輩から誘われたのがきっかけです。地元の人脈を増やせるかなと考え、29歳の時に入会しました。入会当時はどういった団体か正直分からない状態でしたが、入会してみると久慈にも熱い思いを持つ人たちがいるんだなと思いました。

■今年の活動

久慈青年会議所では、自分たちのスキルアップ、青少年育成、まちのブランド創出を目的にさまざまな活動をしています。今年は「ひろのビーチサッカーフェスティバル」

「久住昌之×北三陸のグルメトーク&ライブ」を実施しました。たくさんの方に参加していただき地元のすばらしさを実感する一助になったのではと思っています。

■50周年を迎える心境

50年間、先輩たちがつくってきた団体の先頭に立つ重圧はありますが、なにより先輩たちへの感謝、活動に参加していた人への感謝でいっぱいです。

■50周年記念の活動

6月18日に「未来創造フォーラム」を開催しました。防災減災という観点からのまちづくりをテーマに中部大学の武田邦彦教授とシンガーソングライターの川嶋あいさんを迎え講演・コンサートを行いました。9月24日には元アップルジャパン代表取締役社長の山元賢治氏を迎え記念講演会を開催しました。

■地域の皆さんへ

私たちの活動に即効性はないので、効果が出るのに時間がかかってしまいます。今の地域をつくってくれたのは先輩たちです。未来をつくるのは未来に生きる人ではなく、今を生きる自分たち。より良い未来をつくり、将来を担う若者たちにたくすため、私たち青年会議所は日々活動しています。活動の内容に少しでも興味がある方は声をかけて下さい。一緒に頑張りましょう！



Name
繁名 隆 さん
はんな・ゆたか(畑田 37歳)

Profile
一般社団法人久慈青年会議所 理事長
有限会社ハンナホーム 代表取締役



恒例となったビーチサッカー



50周年記念祝賀会で記念撮影



漫画家・久住昌之さんのライブ



未来創造フォーラムで歌う川嶋あいさん

市民

センター
だより

宇部市民
センター
☎ 56-2706



地域の魅力を地域住民が発信

第41回町民文化祭

市民センターとなって初めての町民文化祭となります。今年は地元の人を講師に招き制作した作品の他、町民の皆さんの手作り作品や保育園児、小・中学生の作品などを多数展示します。会場2階には食堂があるほか、屋外では模擬店やバザーなども出店するので、そちらも楽しむことができます。

また、宇部町内の小学校児童によるアトラクションや餅まきもあります。見どころ満載の町民文化祭に、みなさんお誘いあわせのうえご来場ください。

■日時…11月11日(土) 10時~16時
12日(日) 9時~14時

■場所…宇部市民センター



宇部保育園父母会のバザー

昨年の展示風景

My life
in Kuji



メーガン・ジョーンズ さん

オハイオ州・25歳 / 久慈小、長内小、平山小、侍浜小、宇部小、大川目中、侍浜中、三崎中

Thanksgiving

もう11月になりました。秋を楽しんでいるので、冬が近づくのはちょっぴり憂鬱です。

先日、久慈市産業まつりで、アメリカのイベントの一つであるハロウィーンを行うことができました。久慈でハロウィーンを祝えて嬉しかったです。

今回は、今月のアメリカのイベントである「感謝祭」について紹介します。感謝祭はアメリカでは大切な11月の祝日です。元は収穫を祝う儀式が起源となっています。この日は家族や友人、食べ物などさまざまなものに感謝の意を表します。また、インゲン豆やマカロニチーズ、七面鳥など伝統的な料理を作って食べます。

感謝祭を久慈の学校などで紹介するのが楽しみです。ぜひ他のALTたちにも聞いてみて下さい。



協力隊
つうしん

清水 勇 さん

(しみず いさむ・33歳)

2015年着任。東京都三鷹市出身。農政課に所属し、山根の地域資源を活用した商品開発を行っている。

秋の彩りと眺望に大満足

早いもので久慈市に移住して、2年半が経過しました。山根町の魅力を発信するために、イベントや商品開発などいろいろな活動を行っています。今回はその中の1つを紹介します。

10月9日に「遠島山登山」を企画・運営しました。当日は好天に恵まれた一日で、秋づく遠島山は程よく紅葉に染まっていました。31人に参加いただき、ブナやナラなどの周りを圧倒する大木や紅葉を楽しみながら、2時間ほどで山頂に到着。山頂から望む景色に参加者の皆さんからは喜びの声が上がり、大満足の様子でした。久慈市の魅力を市民の方が再確認することができたと思います。



●地域おこし協力隊…移住定住促進を目的に、都市部からの移住者に対して市が委嘱。地域おこしの支援(地域行事やイベントの応援、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR、情報発信など)や農林水産業への従事、住民の生活支援など「地域協力活動」を行います。

市内の小・中学校で英語を教えているALT(外国語指導助手)の皆さんが、久慈で生活して感じてきたことを紹介するコーナーです。